

**「基礎科学研究助成」に2億円
「環境研究助成」に1億円の助成を決定**

住友財団(会長 野依 良治、理事長 住友吉左衛門)は、この度 2025 年度の「基礎科学研究助成」として総額2億円、「環境研究助成」として総額1億円の助成を決定いたしました。

尚、基礎科学研究助成については、真に我が国の基礎科学研究の発展に資することを目指し、助成総額を5千万円増額した他、年齢制限(45 歳以下)の設定など、募集方法の見直しを行いました。また、今般ノーベル化学賞を受賞された北川進先生は、1997 年度の基礎科学研究助成の助成対象者です。当時選考委員を務めていた野依会長からも、「北川先生の研究に対し財団として支援ができたことは誇らしいこと」とのコメントがありました。

1. 基礎科学研究助成

若手研究者による基礎科学(数学、物理学、化学、生物学及びこれらの複合分野並びに工学の基礎分野)研究に対する助成です。今年度より、総額を1億5千万円から5千万円増額し2億円とした他、真に我が国の基礎科学研究の発展に資することを目指し、以下の変更を行っております。

- ① 若手対象であることを明確にするため、年齢制限(45 歳以下)を設けました。
- ② 十分な助成金を提供するため、申請金額に対する減額査定を行わないこととしました。
- ③ 基礎科学全般へのバランスのとれた支援とするため、数学を除く3分野の助成総額を概ね同等としました。

大隅 典子 東北大学教授を委員長とする選考委員会(委員 13 名)による選考の結果、885 件の応募の中から、

- 大阪大学 大学院工学研究科 中谷 勇希 助教らによる
『高効率な非酸化的メタンカップリング触媒システムの構築によるメタン直接変換』(助成金額:500 万円)
- 東京大学 物性研究所 田中 未羽子 助教による
『原子層物質を用いた超伝導の量子幾何効果の解明』(助成金額:500 万円)

など 56 件に対し、総額2億円の助成を行うこととしました。

2. 環境研究助成

環境問題の解決・改善に資する様々な研究に対し助成を行うもので、沖大幹東京大学教授を委員長とする選考委員会(委員8名)で選考の結果、

(1) 「**課題研究**(募集課題『地球のネイチャーポジティブを実現するための学際的研究または国際的研究』)」については、46 件の応募の中から、

- 東京大学 大学院 新領域創成科学研究科 石原 広恵 准教授らによる
『海の収奪を超えて:関係性価値が導く包摂的ガバナンスの可能性』(助成金額:1,000 万円)

など 3 件に対し、総額 3,000 万円の助成を行うこととしました。

(2) 「一般研究」については、404 件の応募の中から、

- お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系 神山 翼 講師らによる
『地球温暖化による「熱帯拡大」問題に挑む:熱力学的統一理論の構築と社会影響評価』
(助成金額:320 万円)
- 京都大学 大学院人間・環境学研究科 続木 梨愛 博士課程 2 年生による
『ラオスにおけるモンの人々と自然環境とのつながりの変容ー養蜂を事例に』(助成金額:200 万円)

など 31 件の研究に対し、総額 7,000 万円の助成を行うこととしました。

以 上

2025年度 基礎科学研究助成 助成対象

[分野別 研究者名 50音順]

(単位:万円)

No	分野	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
1	数学	東北大学 数理科学共創社会センター	特任 研究員	浅香 猛	地震定理のクラスター代数への拡張	160
2		京都大学 大学院 理学研究科	准教授	筒井 容平	中央値の視点から見た実解析学	150
3		名古屋工業大学 大学院 工学研究科	准教授	中島 規博 他2名	誤り訂正符号の性能評価におけるマトロイドと超平面配置	100
4		長崎大学 教育学部	准教授	吉澤 研介	高階汎函数に対する障害物問題の研究	80
5	物理学	京都大学 大学院 工学研究科	特定 助教	岩田 和也 他2名	Ia型超新星のデフラグレーション・デトネーション遷移過程に地上 燃焼工学実験から挑む	200
6		名古屋大学 大学院 工学研究科	助教	大家 広平 他1名	プラント内の圧力センサ群を活用したIoTレオメトリの開発	500
7		高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所	助教	上岡 修星	ミュオン磁気能率精密測定のための微小電場量子センサーの 基礎実証	500
8		理化学研究所 量子コンピュータ研究センター	理研白眉研究 チームリー ダー	川上 恵里加 他1名	極低温環境下における固体ネオンの制御成膜とその計測技術の 研究	300
9		京都大学 大学院 理学研究科	准教授	川又 生吹 他2名	実験自動化を活用した生体分子システムの開発と大規模解析	500
10		九州大学 大学院 工学研究院	助教	草野 和也	複雑流動場の音響リモートセンシングを実現する流体音響逆問題 の統一的解法の確立	200
11		東京大学 生産技術研究所	准教授	黒山 和幸	テラヘルツ帯域の光共振器を用いた半導体電子の量子ハイブリッド 遠隔結合の実現	500
12		大阪大学 大学院 工学研究科	教授	小島 一信 他1名	半導体材料にて生じる光学冷却現象の増強	500
13		日本大学 理工学部	助教	小林 大地	高速インフローを伴う磁気リコネクションによるイオン加熱メカニ ズムの調査	500
14		東北大学 ニュートリノ科学研究センター	特任 助教	竹内 敦人 他3名	物質起源に迫るための超伝導検出器KIDの開発	250
15		山口大学 大学院 創成科学研究科	助教	竹内 万記	アノマリーの視点から探る特異点を持つ余剰次元模型における世 代数決定機構	200
16		東京大学 物性研究所	助教	田中 未羽子	原子層物質を用いた超伝導の量子幾何効果の解明	500
17		北海道大学 大学院 理学研究院	助教	延兼 啓純	大局的トポロジ構造に基づく新奇量子現象の解明と計測基盤の 創出	285
18		国立天文台 アルマプロジェクト	准教授	廿日出 文洋	アルマ望遠鏡を用いた分子ガスの詳細観測から探る超高輝度超 新星の起源	270
19		九州大学 大学院 総合理工学研究院	教授	濱口 達史 他2名	ベッセルビームを直接生成する半導体レーザ実現への挑戦	450

No	分野	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
20		島根大学 学術研究院 理工学系	助教	山下 真依	天文学の灯を山陰に:「島大望遠鏡」の設置と前主系列星の磁気活動の観測	150
21		東京大学 大学院 新領域創成科学研究科	准教授	吉見 龍太郎 他1名	反強磁性ディラック半金属における量子幾何に基づく機能的物性の開拓	500
22	化学	山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター	研究専任准教授	井上 悟	高い層状結晶性を有するキラル有機半導体の開発	250
23		九州大学 高等研究院	准教授	牛丸理一郎 他2名	鉄硫黄クラスター結合酵素を用いた生物活性糖分子の直接硫黄修飾反応の開発	500
24		学習院大学 理学部	助教	内倉 達裕	光レドックス系を用いる三価1,2-ホスファブルック転位	100
25		静岡大学 学術院工学領域	准教授	宇部 達	液体窒素中で多彩な光変形を示す高分子材料の開発	200
26		東北大学 大学院 理学研究科	助教	梅宮 茂伸	データ駆動型科学に基づく高活性触媒の創製と中分子創薬への展開	200
27		東京大学 生産技術研究所	講師	大内 隆成	アニオニック抽出による金属精製プロセスの開発	300
28		静岡大学 理学部	准教授	関 朋宏	金属イオンの特徴を活かしたフレキシブル分子結晶の開発	500
29		物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センター	主任 研究員	中村 泰之	クラスター化誘起発光を示す機能性ソフトマテリアルの創成	500
30		大阪大学 大学院 工学研究科	助教	中谷 勇希 他1名	高効率な非酸化的メタンカップリング触媒システムの構築によるメタン直接変換	500
31		京都大学 大学院 工学研究科	助教	浪花 晋平	化学的濃度変調を目指した固体化学振動子の開発	500
32		法政大学 生命科学部	准教授	藤井 孝太郎	オキシハライドの新規酸化物イオン伝導体創出と構造科学	500
33		早稲田大学 先進理工学部	講師(任期付)	松野 敬成	未利用エネルギーの活用に向けたチタン酸バリウムナノ多孔体の精密合成	500
34		東京大学 大学院 薬学系研究科	准教授	森 貴裕	特殊アミノ酸生合成における酸化酵素の構造機能解析と利用	400
35		東京大学 大学院 工学系研究科	准教授	森廣 邦彦	DNAメチル化酵素を分解するエピジェネティック制御剤の開発	400
36		大阪大学 大学院 工学研究科	准教授	焼山 佑美 他1名	電子ドナー部位を持つインダンジオン二量体からなる機能性結晶開発	200
37		東京農工大学 工学研究院	准教授	Louis Marine	環境調和型光スイッチ触媒を志向したフォトクロミック配位子の開発	400
38		愛媛大学医学部附属病院	特任 講師	渡辺 隆太 他4名	腫瘍横断的に誘導されるPSMA陽性腫瘍血管の分子基盤解明と標的治療法の創出	500
39		大和大学 理工学部	准教授	安喜 史織	植物の温度応答と生殖器官形成をつなぐ分子基盤の解明	500

No	分野	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
40	生物学	神奈川大学 理学部	特別 助教	浅岡 真理子	植物の組織特異的にみられる細胞死の分子基盤の研究	220
41		東京都医学総合研究所 先端基礎医学科学研究分野	主席 研究員	遠藤 彬則	クロスリンク質量分析によるユビキチン修飾系の理解	300
42		広島大学 大学院 医系科学研究科	助教(テニュア トラック)・文部 科学省卓越 研究員	北嶋 康雄	新規の生理活性物質による筋分化制御機構の解明	370
43		日本大学 生物資源科学部	助教	瀬川 太雄 他1名	「尿素」を介したイルカにおけるUreaplasma cetiの細胞内共生メカニズムの解明	500
44		ピッツバーグ大学 細胞生物学部	准教授	関根 史織 他2名	新規ヘム依存的小胞体ーミトコンドリアコンタクトサイト形成の分子機構と生理機能	500
45		名古屋市立大学 大学院 薬学研究科	講師	高岸 麻紀 他1名	脳ー脳脊髄液関門におけるシグナル伝播機構の解明	500
46		九州大学 高等研究院 生体防御医学研究所	准教授	高野 哲也	神経回路の時間・空間・活動状態に応答する次世代プロテオーム解析法の開発	500
47		秋田県立大学 生物資源科学部	助教	竹下 和貴	動植物への共生において共通して必須な共生細菌遺伝子の機能解明	220
48		名古屋大学 大学院 理学研究科	助教(テニュア トラック)	玉木 健太	光応答性サイボーグ型微小管システムの創製と応用	500
49		東京大学 大学院 農学生命科学研究科	特任 研究員	戸田 絵梨香	植物受精卵の発生可塑性を支える細胞動態および分子機構の解析	300
50		帝京大学 医学部	准教授	中倉 敬	有窓型毛細血管の分化と増殖を調節する分子機序の解明	300
51		慶応義塾大学 医学部	准教授	中谷 庸寿	核移植後の全能性獲得に複製タイミングが果たす機能的役割の解明	500
52		広島大学 大学院 統合生命科学研究科	教授	平川 有宇樹 他1名	ゼニゴケの栄養繁殖における細胞運命制御機構の研究	500
53		東京大学 定量生命科学研究科	准教授	堀越 直樹	Cryo-EM解析による細胞核膜再形成過程の可視化	450
54		埼玉県立大学 研究開発センター	特任 助教	松本 優佳	ヒト足部の骨形態が直立二足歩行中の足部骨運動に与える影響の解明	350
55		慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科	助教	山崎 稜一郎 他1名	音楽への同期運動における前庭感覚の機能的意義の解明	89
56		信州大学 山岳科学研究所	特任 助教	湯本 原樹 他1名	植物の成長戦略としての「分裂による細胞備蓄」ー冬の細胞分裂が春の成長を支える	195

合計 56件

2億39万円

2025年度 環境研究助成 助成対象一覧

1. 課題研究

本年度募集課題

「地球のネイチャーポジティブを実現するための学際的または国際的研究」

[研究者名 50音順]

(単位:万円)

N o	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
1	東京大学 大学院 新領域創成科学研究科	准教授	石原 広恵 他2名	海の収奪を超えて:関係性価値が導く包摂的ガバナンスの可能性	1,000
2	山梨大学 総合分析実験センター	講師	瀬川 高弘 他4名	水月湖年縞堆積物の古代DNA解析による生物多様性変動と自然回復ポテンシャルの評価	1,000
3	大阪公立大学 大学院 理学研究科	教授	竹内 やよい 他3名	熱帯アジアにおけるネイチャーポジティブ施策の森林生態系及び地域社会への影響評価	1,000

合計 3 件 3,000万円

2. 一般研究

[研究者名 50音順]

N o	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
1	京都大学 大学院 工学研究科	助教	安達 真聡 他1名	ガラス表面微細構造が静電砂塵クリーニングシステム性能に及ぼす影響の解明と応用	200
2	名古屋工業大学 大学院 工学研究科・工学専攻	准教授	石井 大佑	廃棄物系バイオマスからなる圧密硬化木質材によるヒートアイランド現象抑制効果	250
3	九州大学 大学院 総合理工学研究院	准教授	石田 洋平	ありふれた物質を資源に変える人工光合成システム	180
4	東京大学 大学院 農学生命科学研究科	助教	岩渕 望	希少微生物群集の生態学的機能の解明に向けた高精度バイオーム解析法の確立	200
5	京都大学 化学研究所	教授	上杉 志成	PFAS結合タンパク質の発見と利用	400
6	神戸大学 大学院 人間発達環境学研究科	准教授	上田 香 他1名	伝統染織と先端環境技術を融合した新たな衣装設計モデルの構築と波及効果	300
7	金沢大学 理工研究域物質化学系	助教	Wong Kuo Hong	鉄の長距離輸送メカニズムにおける腐植物質の役割の解明	120
8	慶應義塾大学 経済学部	教授	大久保 敏弘 他3名	日本におけるグリーンジョブとデジタル経済の進展	400
9	大阪公立大学 大学院 工学研究科	教授	荻野 博康	大腸菌を用いたバイオアルカンの生成	300
10	お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系	講師	神山 翼 他5名	地球温暖化による「熱帯拡大」問題に挑む:熱力学的統一理論の構築と社会影響評価	320
11	岩手大学 農学部	助教	斎藤 梨絵 他5名	分布拡大中の東北地域のイノシシにおける遺伝的集団構造とその全国的な系統の位置づけ	200
12	名古屋大学 大学院 環境学研究科	准教授	ジンチェンコ アナトーリ	廃PETを資源としたCO2吸着材料の直接合成とスケールアップ技術の開発	150

N o	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
13	福井県立大学 恐竜学部	教授	高田 裕行 他3名	12－15世紀の冬季モンスーン十年規模変動からみる 近畿地方の気候変動の安定さ	130
14	静岡文化芸術大学 文化政策学部国際文化学科	准教授	武田 淳	森林デューデリジェンスに対するコーヒー生産者の応 答—コスタリカ森林破壊ゼロ認証	130
15	東京大学 大学院 新領域創成科学研究科	准教授	張 潤森	NbSに基づく土地利用シナリオによる都市ヒートアイラ ンド緩和効果の予測と評価	260
16	京都大学 人間・環境学研究科	博士 後期課程2年	続木 梨愛	ラオスにおけるモンの人々と自然環境とのつながりの 変容—養蜂を事例に	200
17	大阪公立大学 大学院 理学研究科	特任 助教	鶴田 智暉 他1名	合成化学で挑む、棲管形成生物に対する着底阻害剤 の創製	300
18	国立環境研究所 生物多様性領域、生物多様 性評価・予測研究室	特別 研究員	栃木 香帆子 他3名	複雑な構造の森林ほど哺乳類を惹きつける？:種多様 性と行動の多様性に及ぼす影響	250
19	筑波大学 医学医療系	准教授	永井 恵 他2名	慢性腎臓病患者のポリファーマシー回避による環境負 荷削減効果の検証	80
20	北海道大学 大学院 工学研究院	准教授	羽深 昭 他2名	パッシブサンプリングとリン酸酸素安定同位体比分析に よる湖沼底泥からのリン溶出評価	140
21	東京海洋大学 学術研究院	准教授	原田 幸子 他1名	漁村におけるブルーカーボン創出の意義と社会的イン パクト	160
22	東京農業大学 国際食料情報学部	助教	檜谷 昂 他2名	マングローブ林における養蜂導入の多面的影響評価と 持続可能な資源管理モデルの構築	250
23	東京大学 大学院 総合文化研究科	准教授	樋渡 雅人 他4名	アフリカ鉛汚染の環境修復:経済学×毒性学で挑む統 合的影響評価	250
24	東京大学 未来ビジョン研究センター	JSPS Postdoctoral Fellow	Huynh Lam Thi Mai 他2名	自然再興型インフラ:アジア太平洋におけるハイブリッド 型リビング海岸線の実践的研究	230
25	海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	研究官	本間 翔太 他1名	環境DNAを用いた種分布推定の手法の開発:流動モデル と統計推論の融合	210
26	茨城大学 地球・地域環境共創機構	学術振興研 究員	槇田 容子	東ティモール農村の農業・気象に関する地域知の体系 化と気候変動適応策への応用	270
27	九州大学 大学院芸術工学府芸術工学 専攻環境設計コース	博士 後期課程1年	水川 裕紀子 他3名	竹林管理の地域特性と生態系サービスの定量評価に 基づく自然資本クレジット制度の構築	100
28	鳥取大学 工学部社会システム土木系 学科	教授	宮本 善和 他3名	放棄農地の自然再生の社会実装と普及に向けた実効 的な方法論の開発	300
29	前橋工科大学 工学部生命工学領域	教授	山下 聡 他1名	環境中のエピゲノム攪乱物質を実用的に同定可能なス クリーニングシステムの構築	180
30	名古屋大学 宇宙地球環境研究所	博士 後期課程3年	吉村 飛鳥	地球温暖化問題における雲放射特性の不確実性低減 のための雲粒子直接観測	150
31	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所疫学研究 部 統計・機械学習研究室	室長	米岡 大輔 他6名	気候変動、特に異常気象下の感染症リスク評価に関す るワンヘルス数理基盤構築	390

合計 31 件 7,000万円